

とうじんきょうの冬

Tojinkyo SSKA

No.210・2016 1.15

おもな記事

特集 2016年新春座談会	1
私と東腎協 ^⑮	12
活動のまど	13
30年透析会員のお名前	表3

患者同士が
助け合いやCKD治療
の正しい知識、情報
があります。

どなたでも
そして、あなた
ひとりでも
入会できます

CKDの医療・
医療費・障害者手帖・
年金・通院送迎・災
害対策などの情報が
あります。

東腎協はCKD・
透析患者の「いのち
と暮らし」を守る
組織です

CKD患者（慢性腎臓病）の同じ思いや経験にふれ、
支えになりました。

入って良かった

ご存知
ですか

機関誌 とうじんきょう
(5回発行)

機関誌
ぜんじんきょう
(6回発行)

◆ 東腎協に加入すると ◆

- ① 月450円（年5,400円）の会費で特典や情報が得られます。
- ② 全国誌6回、東京誌5回の機関誌による最新の透析医療や医療費助成制度・イベント情報が掲載。
- ③ 透析患者仲間との絆や交流・活動情報が得られます。
- ④ 医療費助成制度の維持継続・透析医療の進歩改善・災害対策強化などを支える活動を支援・協力する事ができます。

増強キャンペーン用ポスター（2016年1月製作予定）



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
<http://www.toujin.jp/> E-mail info@toujin.jp



河北葦クリニック
腎友会
森谷湖茂



練馬桜台クリニック
さくら会
岩上建美



東腎協会長
小池会
藤田吉彦



新葛友の会
中村 博



村上医院ひまわり会
堀 豊



新春座談会

—2016—

仲間をふやして大きな組織へ



府中けやき会
梅原秀孝



東腎協事務局長
日野クリニック腎友会
板橋俊司



司会・東腎協広報委員
東海病院ひまわり会
工藤育夫

目次 210号

特集 新春座談会 1
仲間をふやして大きな組織へ

リレーエッセイ 8

なかまのたより 9

私と東腎協⑮ 永見明子 12

活動のまど 13

2016年 年賀広告 16

追悼 渡邊忠志さんを偲んで

榊原靖夫 21

全腎協ニュースレター 22

事務局から 23

30年透析会員のお名前 表 3

会員・なかまを増やす とりくみから

司会 明けましておめでとうございます。

本日は、年頭に当たりまして、普段患者会でご活躍されている皆さまにお集まり頂き、今年の抱負と今東腎協全体で取組んでいる「会員増強」についてなどお話しして頂きたいと思います。

では自己紹介からお願いします。

藤田 東腎協の会長をさせていただいております。藤田です。今年で73歳、透析歴17年です。飯田橋に有ります小池内科で透析を受けております。65歳までサラリーマン生活をして、今は年金生活ですが、少しでも皆さんのお役に立てればと東腎協の活動に参加させていただいております。

梅原 府中腎クリニックで透析をしています。患者会の会長をして、東腎協では多摩ブロック長をしております。自営でパレルの仕事をしていましたが、66歳から透析導入して、今年12年目78歳です。私は5時間透析ですが、医療も発達して、ドクターの言うことを聞いて正しく生活していれば、こんなに長生きできるといふことを実感



病院にクレームや要求をつきつけるのではなく、協力・共同で

森谷

未組織施設を訪問して患者会の 重要性を熱く訴えれば、成果も

梅原

証したいと思っています。

堀 村上医院ひまわり会の堀と申します。71歳です。透析歴は18年目になりますが、身体が軽いので3時間透析です。東腎協に入ったのは隣のベッドの人に誘われ、今では患者会の会長をやっています。ある日突然の透析で、シャントもなく足の付け根から刺して命拾いました。

中村 東部ブロック新葛友の会という患者会の会長をしています。今年で11年目の透析です。若い頃から暴飲暴食と睡眠不足で、さらに30代から糖尿病もあって無理が祟ったのだと思います。最初は綾瀬の方の病院で患者会に誘われ、迷ったけど一年だけやってみよう。と。そのうち、理事になってくれないかと言われ、病院も変わって新たに患者会を作った。今日に至っております。

岩上 練馬さくら会で会長をしています。岩上です。透析歴9年目、今年で82歳になります。若い頃から174センチ94キロという体格で、高血圧に悩まされてきました。さらに仕事上のストレスや疲れもあって透析導入とな

りました。私のベッドの

隣が、元患者会の会長さんでその縁で患者会に入ったのですが、当時の患者会はあまり行事らしいことはしていませんでした。私は三代目の会長ですが、会名を「さくら会」に変更して、旅行などの企画をしたのですが、会員が集まらずバス一台を埋めるのにも苦労しました。そこで、これでは駄目だと会員増強を取組むことにしたのです。

北部ブロックで「災害アンケート」を全患者対象にとつていて、うちの患者会でも130名全員に配りましたら100名近い回答があったて驚きました。こんなに関心があるのなら、会員ももう少し増えるかなと、古くからの会員さんに相談して「呼びかけ文」(7頁参照)を作つて訴えました。20日間くらいのうちに17人が入会してくれました。やっと67名の患者会になり、昨年12月に京王プラザで盛大に忘年会をやりました。

森谷 阿佐ヶ谷の河北葦クリニックで透析をやっています。透析18年目で、58歳です。患者会を知ったのは5、6年前ですが、当時の患者会は病院に対してクレームとか要求を突きつけるような会でして、会に誘われても、もしかして労働組合的なものかと迷いました。そのうち会長が急に亡くなられて、私に次期



会長をやれと……。どうせやるなら、病院と対立するようなものでなく、良い関係を築いて行こうと思いました。

まだ少人数ですが、今までと違う患者会だよとアピールして会員を増やそうとは思っていますが、会費払って入会するからには、何か見返りが欲しい？ というような意見が多くて。なかなか患者会と言うものが理解されないで苦労しています。阿佐ヶ谷近辺では比較的大きな病院で、200人近い患者がいますので、皆さんのお力添えで何とかしたいと思っています。

板橋 昨年10月から東腎協事務局長になりました。現在65歳で透析11年目です。10歳のときに慢性腎炎といわれたのですが、50歳近くまで入院はしましたが、ほとんど健康人と変わらぬ生活をしていました。しかし50歳を超えたらいいよ無理が利かなくなり、55歳で透析導入。今は日野クリニックで会長をやっているが東腎協事務局をお手伝いしています。若いときから腎臓病で苦しみ、どうせ50歳くらいのまでの人生と割り切っていたのですが、透析導入で意外にも体調復帰……。諸先輩のおかげで医療・福祉も一定確立して、その恩返しの意味を含めて東腎協の活動に参加した次第です。



透析患者同志の情報交換が ひいては寿命にも影響してくる

岩上

あなたの患者会の行事内容は？

行事	患者会数	%
総会	48	64
新・忘年会	38	50.6
旅行会	33	44
講演会	28	37.3
食事会	19	25.3
懇談会	14	18.6
その他	16	21.3

(2014年患者会アンケートより・回答数75患者会)

患者会での行事やとりくみ 病院との関係など

司会 皆さんの患者会では、どんな行事をさ
れていらっしゃるんですか？ 病院との関係な
ども交えてご紹介して下さい。

梅原 うちの患者会は年一回旅行会をやつて

皆さんのお話を聞いていると 希望がもてることが多いですね

藤田



いますが、今までは病院は関わらなかつたのですが、昨年から婦長さんにも参加してくれるようになりました。昨年は屋形船でスカイツリー巡りを企画したので、座敷なので足の悪い方が多く忘年会と懇親会に変えました。

年々参加者が高齢化し、足が痛い、食べた
いものが食べられないなど切実な声を聞くと、
元気な人だけで行つていいのかと辛い気持ち
があります。そこで、行けなかつた人には誕
生月に会長のメッセージを入れて1000円
のクオカードを配つたら大変好評でした。

岩上 皆さん、バス旅行は秋が良いと言うん
ですけど、秋はバスの値段が高く、しかも日
曜日ですから、一人当たりの会費が高かつい
てしまう。さらに車椅子の人や足腰の悪い人
がいますから、景色の良いロープウェイなど
は無理で、場所の選定に一番苦労します。

バス旅行にはいつもスタッフさんが6、7
人付いて来てくれます。昨年の忘年会には10
人くらいスタッフが参加して、普段、病院で
は話せないこと聞けないことなどが聞けて大
変有意義で好評でした。

また、患者会費が年2000円ですので、
病院の理解、援助がないと大きな行事は出来
ませんね。京王プラザの時は会費も含めて15

機関誌から得られる患者同志の 情報が、いちばん頼りになる

中村

万円くらい頂きました。

一同 それは凄いですね。それじゃ患者さんの会費は無料ですね。(笑い)

板橋 私のところでは、忘年会やお花見会と年5、6回スポーツ交流会をやっています。

都立多摩障害者スポーツセンターの体育館を借り切って、卓球やバトミントン、などをやっています。

昨年末は青年部と多摩ブロックの共催でやり、これからの企画が楽しみです。

病院との関係はスタッフの方とは良いのですが、患者会に対して必ずしも協力的とは言えません。

東腎協「中期計画」に 基づいた拡大運動ひろげて

藤田 皆さんのお話を聞いていると、希望を
持てる人が多いですね。

東腎協は昨年の総会で「中期計画」を採択して、安定した4000名会員、財務体質の健全化、運動の再点検を三年計画で行おうと提起しています。そのためには、①患者の目線で行動すること、②社会の情勢変化に対応できる活動、③事務局や役員会など業務の効率化、④以上を通じて財政的余裕を作り健全化を目指すことが重要です。

皆さんのところでは会

員拡大の取り組みはいかがですか？

梅原 多摩では未組織施設を30件くらい選びまして、10月11月と訪問する活動をしました

(詳細記事6頁参照)。施設側の反応もよく、患者会の重要性も熱く訴えることが出来ました。

事前に訪問趣旨をお手紙で差し上げて伺うのですが、クリニックによつては先方から連絡があつて、好意的な応対と一時間以上の時間を割いて頂くこともありました。

患者会は患者のためだけでなく、医療制度や診療報酬の向上は、医療機関にとつても重要なことや、私たちがウインウインの関係を

目指していることなどを訴えると率直に反応してくれます。

すぐに結論は出ませんが、訪問すれば、それなりの成果がありますので、「中期計画」に基づいて三年掛けてじっくりと組織化を目指そうと思っています。同時に共有できる会の理念作りも重要だと思っています。

藤田 河北葦クリニックの院長先生は全腎協で講演などされて患者会に理解のある先生です。すよね。

森合 篠田先生ですね。雑誌に記事も書いています。

藤田 ですから、その条件を生かして病院も



中期計画における財政目標

年	2015	2016	2017	目標
会費収入(万円)	2106	2187	2268	2268
その他収入(万円)	500	500	500	500
固定費①(万円)	1001	1028	1055	1055
固定費②(万円)	1005	914	882	882
流動費(万円)	673	673	673	673
支出合計(万円)	2679	2615	2611	2611
損益(万円)	-73	72	157	156

中期計画における会員増強目標

年	2015	2016	2017	目標
会員減(人)	▲150	▲150	▲150	▲450
会員増(人)	250	300	300	850
会員合計(人)	3900	4050	4200	4200

* 1. その他の収入内訳：広告収入200万円、寄付金200万円、賛助会費100万円

2. 固定費①の内訳は、家賃、事務所経費、全腎協、東難連など

3. 固定費②の内訳は、人件費、事務所費、総会費、大会費など

4. 流動費の内訳は、腎キャン、都民の集い、広報、ブロック、関東BK など

巻き込んで回りの患者さんに声を掛けたいかがですか？ 一年だけでもいいからと……。先ほど中村さんが一年のつもりが今日に至ったって話もありますから。まずは拡大運動をやってみましょうよ。私も一度篠田先生にお会いしに行きますよ。ところで、200人近い患者さんがおられると聞きましたが、男女の比率はどうですか？

森谷 是非お願いします。男女の比率は女性の方が多くですね。そして、女性中心に飲み会などもやっています。私も誘われたこともあるんですが、患者会の話をする嫌がられる。そこで最近行かないようにしてしまっただ。以前の悪い印象が染み付いてしまっただのかもしれない。

藤田 女性は一入ってくれると芋づる式に入会してくれることが多いですから、嫌がられても積極的に参加して、粘り強く入会を勧めましょうよ。そういう発言力のある女性は是非誘ってみてください。

板橋 入会のメリットと言う話を良く聞きます。私たちは月に約40万円、年間500万円くらいの医療助成を受けています。それ自体がメリットなのではないでしょうか。

これは我々の先輩たちが命を懸けて勝ち取った成果です。当時は更

会費を納めるということも、患者会運動を支える大事な力

板橋

生医療のため、若い人から優先的に透析を受けた為、この制度の恩恵を受けずに亡くなっ

た先輩も多くいると聞いています。

会員になっても活動に参加できないという方もいらつしやいます。それならば、患者会運動を支える意味でも会員になって、会費を払うことで協力して欲しいと思います。

「入会してよかった」 確信もって呼びかけよう

司会 患者会を大きくするには私たち自身が患者会に入って良かったことを確信したいですね。皆さんはどうですか？

岩上 スタッフやクリニックが勉強熱心でないことから、患者も自分の検査データに関心がない、いわゆる「おまかせ透析」が多くなっているように思います。だからこそ患者会の存在が重要になって来るのではないのでしょうか。患者会に入って、病院からではない患者同士の情報が得られることが、ひいては透析患者の寿命にも影響してくると思います。



そのことをもつと他の患者さんに知ってもらいたいですね。

梅原 私も人の体験談が聞けることだと思っています。前に聞いた事ですが、30年透析の人が表彰式に來れなかつたのですが、ヨーロッパに旅行をしていて透析の合間に透析施設を訪問して、「自分は透析しながら海外旅行も出来る」と激励していると聞いて、私は鳥肌が立つ思いで感動しました。

岩上 我々にとつては体験談が一番貴重ですね。患者が200人いても患者会の会員の顔が分かるのは四分の一くらいです。ですから、今回入会の呼びかけチラシを全員に配布して、新入会員を募つたら、17人も入ってくれたんです。

中村 先ほどから言われているように、患者同士の情報が一番ですね。それと、機関誌からの情報です。「ぜんじんきょう」や「とうじんきょう」と年11回の雑誌がもらえるんです。これが月450円で手に入ると思うと、会費なんて安いもんですよ。

森谷 皆さんの話を聞いていて、私の患者会でもポスターなど貼って入会を呼びかけようと思いました。うちは院長やスタッフも好意的ですし、200人も患者がいる。何とかして患者会を大きくしたいです。



患者サービスに力を入れ過ぎ？ 新しいクリニックの営業が心配

堀

目標を持って地道な活動を

多摩ブロックの11月拡大行動

本年度の東腎協総会承認案件として、三カ年計画、中期ビジョン会員拡大が満場一致で承認可決されたことは、記憶に新しいことと存じます。

さて、その経緯を踏まえ、多摩ブロックではそのさきがけとして昨年度より拡大キャンペーンを計画しました。ちょうど東腎協のビジョンと合致し、昨年11月より拡大キャンペーンを推進する為多摩ブロックの理事会を開き、目標、方針、役割、スケジュールをとりきめ、11月よりスタートしました。

多摩を東部地区と西部地区に分け、既存の患者会の活性化と、未組織の施設の訪問、既存の患者会は新会員一名以上の目標を持ちました。特に未組織の施設については、原則35名以上の患者のいる17施設を選び、まず東腎協の「タリフ」、活動内容を丁寧に説明し、個人でも会員になれることのアプローチをしました。現在進行中ですがほぼ100%訪問できました。

中でも好印象で協力的だったのが、武蔵野徳州会病院でした。訪問したのは、小野副会長、杉崎理事そして梅原の三人で、鈴木洋通院長と新井秀樹事務長さんが対応してくれました。まず院内の施設を丁寧に案内、説明していただき、また東腎協の活動にもご理解をいただき、出来るだけのご協力・ご支援をいただけるものと期待しております。すでに、全腎協の今井会長、金子常務とも面識があるとのことのお話で、スムーズに会話が進み、患者会が早期に設立できるものと期待を持ちました。

また青梅腎クリニックも石渡宏幸事務長さんと面会が出来、東腎協の活動等を説明させていただき、好印象を得ました。さらに福生駅前クリニックの稲葉剛事務長さんとも有意義なお話が出来、後にまたご検討いただくことになりました。面会できなかった施設については、事前に連絡・アポイントを取ることが必須と感じました。今回の未組織施設訪問活動を通じて、地道な活動が大切だと痛感しました。今後の医療制度維持する為先輩方の努力に対し、私たちは会の存続が大切であることを再確認した次第です。

(多摩ブロック長 梅原秀孝)

4000名会員めざして

板橋 東腎協では、いま会員拡大用のポスター制作を準備しています。そういうのを活用して是非回りに呼びかけましょう。また、先ほど藤田会長が言われたように、ブロックの役員や東腎協の役員と一緒に協力します。1月からでもすぐに取り組みしましょう。

司会 最後に東腎協に対しての要望等ありましたらお聞かせください。

森谷 他の施設の透析状況をもっと知りたいです。5時間透析の効率とか、週4回の透析とか。他の人から聞ければ説得力もあるし、それでこそ患者会ではないかと思えます。

堀 最近新しいクリニックが出来ていますね。

そして、患者さんも新しいところへ転院する人が増えています。通院送迎などクリニックも患者サービスに力を入れて、その分クリニックの経営を圧迫し、スタッフの労働条件や設備等に影響を与えているのではないのでしょうか。

岩上 一昨年、東腎協の大会に参加しましたが、私の患者会では行く人がいなくて仕方がなく私が行きました。もつとアップルした方が良いのではないですか？

中村 大会は参加者数に制限があり、大勢来られても困るのです。

梅原 大会は、普段交流できない患者さん同士の親睦と交流の場なのでしょけれど、今の

やり方では話したり交流する時間があまりありません。テーマを決めて、もつと深い話が出来るようにした方が良いかも知れませんね。森谷 余興などにしても、有名人の患者さんと呼べると良いですね。たとえば、たけし軍団の義太夫さんとか。あの人は中野のクリニックに通っています。

板橋 今年の大会の企画会議も近々行われます。私も委員ですので皆さんのご意見を参考にさせていただきます。

司会 皆さん、長らくありがとうございました。今年もいよいよスタートです。安定した4000名会員を目指して、ともに頑張りましょう。

練馬桜台クリニック さくら会

会員増強キャンペーンの取り組み

よ

うやくしのぎやすい季節になりましたが、皆様方は恙なく透析を受けていますでしょうか。

早速ですが、皆様ご存知の通り平成28年1月よりマイナンバー制度が導入されます。政府の財政の莫大な金額の支出は全く見直されること無く変わらずに、国民への締め付けだけがマイナンバーが導入される事により非常に大きくなる事が懸念されております。今後、医療費においても個々人の収入、資産額によって自己負担額が個々によって変わることが予測されます。日本もアメリカ合衆国のように「お金がなければ病院に行くことはできない」という更に大きな格差社会になるのも時間の問題ではないでしょうか？

現在、東京都民である我々は透析を受けるにあたり実質自己負担額は0円です。もし、健康保険や行政の助成を使わずに1回の透析を全額自己負担するとなると約45000円が掛かるという事をご存知でしょうか？ 今後、全国一律で透析患者は透析を1回受ける度に45000円の何割かを支払わなければならない時代にもなるかもしれません。

いいえ、必ずといってそういう時代が来る筈です。大きな病を抱える国民は自分の医療費の捻出に不安が広がる一方になると思われ

ます。

現に、千葉県の場合、県民の透析患者は最低の月額一万円の負担の他に、透析一回につき3000円を負担しております。つまり最低でも月額13600円を支払わなければ透析を受けることが出来ないのです。

現在、東腎協（東京腎臓病協議会）は、東京都民が透析を受けるための実質負担額を現状通りの0円で行えるように必死に東京都に要請活動を行っています。具体的には、都議会の各政党に現状を説明して、透析患者の為の予算化の枠が確実になるように訴えているのです。しかし、昨今では透析患者の高齢化や若い世代の透析患者の患者会未加入等の理由により東腎協の会員数が減少してしまい、活動費が足りずに赤字の状態です。皆様は、このことをご存知でいらっしゃいましたか？

練馬桜台クリニックでは平成15年に患者会を設立し、その後平成25年度に『さくら会』と名称を変更し色々な活動を通して患者同士のコミュニケーションをとりながら安心して透析を受けられる環境を作ることと病院と相談し尽力しております。年会費、7400円が加入の際に必要となりますが、その内訳は、3600円が東腎協の会員登録費、1800

円が全腎協の会員登録費、2000円がさくら会費となっております。

我々、東京都民の透析患者にとって、経済的な不安がなく安心して透析を受け続けるには東腎協の都への要請活動は非常に重要な事です。財政難の今日、医療助成・福祉制度はこのままでは存続は非常に厳しい状況です。だからこそ東腎協の透析患者のための予算枠の確保の要請活動は重要なのです。しかし、残念ながら現実には大きな団体でなければ望ましい活動結果を生み出すことが出来ません。正に『数は力なり』という言葉に尽きるので

我々は月に13回、一年で156回の透析を基準とし受けていかなければ生きていけません。個々人によって患者会に加入することに対して色々な考え方や思いがあること、そして年会費は決して安価ではないことは十分に認識しております。年会費7400円を年間透析回数156回で割ると1回の透析当たりは47円となります。1回の透析を47円の自己負担で受けられる日々を1日でも長く続けさせ、『金の切れ目が縁の切れ目』とならないためにも、患者会・さくら会に未入会の患者様は、これを機に患者会の存在の意味をご理解して頂き、入会をご検討して頂ければ幸いです。

そして、患者会・さくら会へ入会して頂くことを切に願っております。

さくら会 伊藤 淳 他 役員一同

リレー エッセイ

「マイッタヨォー透析が始まる！」

友人から電話が入ったのは、五年前のことでした。透析の話を聞いたのはこの時が初めてで友人の話を総合すると、透析とは大変な治療を続けることだと理解しました。

ところが、二年後。私自身糖尿病の治療でお世話になっていた医師より、クレアチニンの数値が上昇し透析になるかもと注意されていたのが現実となりました。

シャント手術、インターネットでの診療所探しと慌ただしい日々を過ごし、現在の診療所にお世話になり透析生活が始まりました。

そして、ある日健康組合から診療明細書が届き、その高額な透析治療費に驚きました。月四十万円から五十万円、年間五百万円前後であり、この額が毎月有料だと治

診療所への通院が楽しくなり、 気がつけば三年間

療を続けられないと心底思えたのです。現在の無料制度を勝ち得て来た先輩たちの歴史に敬意を払い、この制度を継続していくことが現役の責任であると改めて決意した思いです。

ただ、患者間には温度差があり、患者組織が一本化になり得ていないのが残念です。

当初は何も知識がなく、全腎協、東腎協機関誌のバックナンバーを読み耽け、透析に関することわからないことは医師、看護師、先輩患者さんにQ&A方式で質問をしながら問題を解消してまいりま

した。また診療所の催しもののできる限り参加しました。「新年会」

「調理教室」「バス日帰り旅行」「お花見」「BBQ」そして「夏期講座」。

その場で知り得た患者さんとは、その後診療所で会話がはずむようになりました。やがて診療所への通院が楽しくなり、気がつけば、三年間が過ぎていました。

今年に入り受診中の診療所の役員さんより誘いを受けて、役員のお手伝いを引き受けることになり、東腎協の方とも知り合う機会ができて世界が広がっております。また多摩ブロックで始まった「病院

の透析患者さんの組織化」のため

東腎協の先輩と協力して、未組織の病院訪問をして先方の医師、事務長さんの方々と交渉を続けております。この交渉は一回では無理なことであり、何度も足を運ぶ時間のかかる作業になります。

しかし、この大変な業務のなかにあっても、親しくなった患者さんに食事に誘われるなど楽しい時間を作ることができて、バランスよい日常を過ごしております。

先輩の患者さんたちは二十年、三十年間と長い透析を経験されている方が多勢です。三年目の新顔が物理的に追いつくのは無理でしょうが、皆様に近づけるような体験と学びの日々を送っております。

最後にひと言。透析で助けられたのは、身体の血液の中にあつたコンペイ糖の形状？をした不純物が消えたこと。毎晩熟睡できるようになった。感謝！

遠藤 博迪さん



透析3年（71歳）

NPO東腎協理事

すながわ相互診療所患者会いずみ



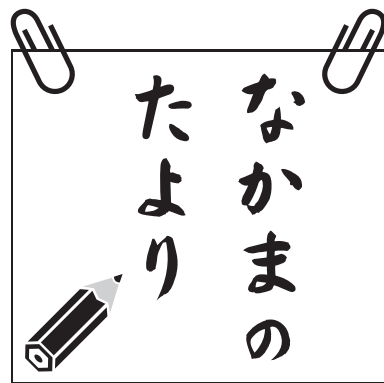
日野クリニック望年会

12月5日、日野・百草クリニックの望年会を開催しました。私たちのクリニックでは忘年会を「望年会」と呼んでいます。

板橋会長が東腎協の会合で不参

日野クリニック望年会

副会長 杉本 聡



加の中、参加者10名日野駅前中華「麒麟坊」にて、お互いの健康に感謝して乾杯後歓談、ビンゴゲームでプレゼントを交換し合い楽しい一時を過ごしました。歓談のなかではリンの値について、シャントの悩みについて、旅行透析についてなど各人の悩み事や情報交換で話に花が咲きました。二次会は女性中心にカラオケへなだれこみました。皆様のストレス解消にはなったと思います。

今後は新会員への働きかけをもっと強め、将来的には30名以上の規模までにはしたいと考えています。今回は過去最低の参加率で役員として反省しております。日頃孤独になりがちな透析患者は、無理しても人とふれあい、もっと刺激を受けるべきだと思います。今後役員として積極的にイベントを企画していこうと考えています。一人ではできないことも皆の力を借りれば実現できることもあると感じる今日この頃です。

東海病院ひまわり会忘年会

坂本悦男

全体を集めた忘年会を計画して



東海病院ひまわり会忘年会

いたのですが、東海病院の江本院長先生の都合がつかず、全体のは、新年会（2月7日、月）にまわし、今回は幹事が昨年を反省する忘年会となりました。看護師長と主任、中西さんと坂口さんが参加してくださり計9名、12月13日（日）午後5時より開催、結局9時までひたすら人生の反省ばかり。

忘年、2015年の悪かった事だけを忘れ去ろうとした訳ですが、出席者全員の行いが良く透析状態も良いので、ひたすらワインと料理を、人生の楽しさに話が集中してしまい楽天会に変わっていました。看護師長の中西さん一人だけ酒が飲めなく、ひたすら食に集中。他

の人間は、一升瓶のワインを2本飲んでしまった。来るべき「サル歳」も早く去り、来年の年末も同じ顔が集まり、杯をかたむけることが出来る事を宣言して散会となった。

参加者は、山崎会長、吉田氏、小室氏、佐々木氏、上野氏、野崎氏、坂本と、そして中西さんと坂口さん、工藤氏は、突然の発熱により無念の欠席となった。皆さん健康に透析を続けましょう。お酒に負けずに！

東腎協スポーツ交流会

東腎協青年部副部長

宿野部武志

昨年12月22日（日）、東京都国立市にある東京都多摩障害者スポーツセンターにて「透析患者も身体を動かそう！」をスローガンに東腎協青年部主催 多摩ブロック後援により東腎協スポーツ交流会が患者とご家族合わせて15名が参加して開催されました。

当日は日野腎友会会長の板橋さんの進行で冒頭梅原多摩ブロック長の挨拶につづき、青年部を代表して私宿野部がご挨拶をさせていただきました。

まずはケガをしないように、参加者一同円になって入念なストレッチ、準備体操で体を温め交流会が始まりました。

当日は広い体育館を貸し切っており、バドミントン、フリスビーでのストラックアウト、卓球等参加者が自由に楽しみ、最後には「ボッチャ」というスポーツをみんなで楽しみました。ボッチャは、パラリンピックの正式種目にもなっている競技で、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。私自身もはじめての経験でしたが、赤と青の



東腎協スポーツ交流会

チームに分かれ敵・味方関係なく「おー!」「ナイス!」「惜しい!」と、その一投一投に声が上がりがかり盛り上がりました。

運動不足になりがちな身体を動かすことの大切さと爽快さを改めて感じる事はもちろん、スポーツを通じて共に楽しみながら交流を深められたとても良い機会となりました。ちなみに普段運動不足だった私が翌日かなりの筋肉痛になったことは言うまでもありません（笑）またぜひこのような機会を設けたいと思っています。その時はぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしています!

小池会忘年会

―蟹とビンゴの年忘れ―

藤田吉彦

昨年の年の瀬も押し詰まった12月19日18時より、小池会の忘年会が飯田橋セントラルプラザビル20階の「北海道」において開かれました。

小池会は会員数24名で、施設は飯田橋駅近くにあり、朝7時から可能なフレックスタイムの透析と親身なスタッフで評判のクリニックですが、例年12月には院長先生、



小池会忘年会

透析スタッフ、患者とで楽しい忘年会を欠かさず行っております。

忘年会当日は小池内科の小池院長、スタッフの方々に加え、東腎協から板橋事務局長、工藤理事のご参加も得て、盛りだくさんの蟹料理を堪能し、様々な話題で盛り上がりました。

またバラエティー豊かな商品を取り揃えたビンゴ大会も行われ、一同童心に返り和気あいあいと賑やかなひと時を過ごしました。

小池会は忘年会以外にも、年に1〜2回、院長先生ご本人他お知り合いの先生による勉強会を実施しており、大変好評を得ています。新年の会員拡大運動にも積極的に取り組むことにしています。

新小岩クリニック友の会忘年会

田崎 勲

2015年も終わりに近づき世間では忘年会シーズンが近づいていました。新小岩クリニック「友の会」では12月6日に場所は船堀健康ランドの宴会場で開催されました。

2015年の参加者は新小岩、船堀を合わせて計48名、院長先生方とスタッフの皆様も参加して頂き、盛大な忘年会が私の挨拶から始めさせて頂きました。豪華な料理を食べ、お酒を飲み、カラオケでは盛り上がり次々とみんな自慢ののどを披露して院長先生方にも



新小岩クリニック友の会忘年会

故 森清さんの奥様
寿子さんからのお手紙

前略

夫が十月二十七日に亡くなりま
した。三十年近い人工透析をしな
がら、仕事にも生きがいをもち、
いっしょうけんめい生きた七十二
年間の生涯でした。死後は自分
の体を役立てて欲しいとの願い
をもち、入院先の立川相互病院で
の病理解剖にも応じました。

全腎協、東腎協、患者会にも一
人でも多くの方々に入っていただ
きたいと呼びかけていた夫でした。
その夫の遺志を思い、気持ちば
かりですが、お香典より寄附をさ
せていただくことといたしました。
家族、身内だけのささやかであ
りますが、あたたかい見送りをす
ることができました。

夫がかわいがり元気をもらった
保護団体からの犬がおりますが、
そちらの団体にも寄附をさせてい
ただきましたので、額は少なく申
し訳ございませんが、どうぞお受
けとりいただきたく、どうぞよろ
しくお願いいたします。

全腎協、東腎協の発展と腎臓病
の方々の医療や、医学の進歩、発
展を願っております。

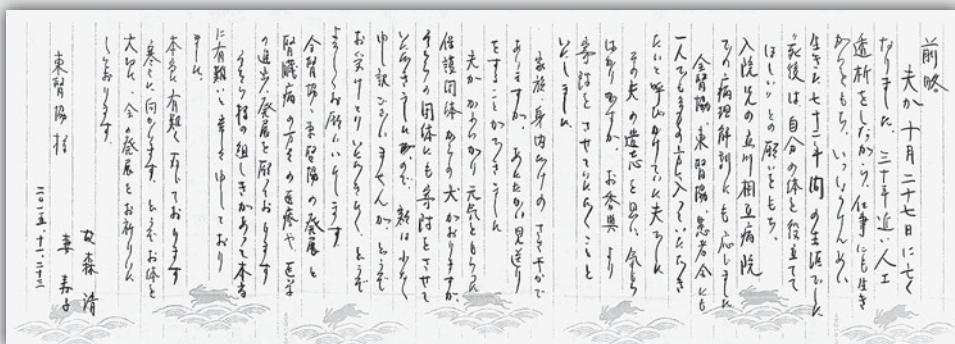
そちら様の組織があつて本当に
有難いと常々申しております。

本当に有難く存じております。
寒さに向かいます。どうぞお体
を大切に。会の発展をお祈りいた
しております。

故 森 清
妻 寿子

東腎協様

二〇一五年十一月二十三日



歌って頂き、まるでカラオケ大会
のようにみんな楽しんで歌ってい
ました。カラオケの他に橋本様の
日本舞踊があり、華麗な踊りにみ
んな釘付けになって見ていました。
歌、踊りと盛り上がり、会話を
楽しみ、みんな満足した忘年会だ
ったと思います。ただ、残念なこ
ともあり、新見様が家庭の事情に
より関西の病院に転院してしまう
ので、一緒にできる最後の忘年会
になってしまったことです。みん
なで花束を渡しお別れをしました。
「新見様、お世話になりました。
有難うございました。また会いま
しょうね。」

忘年会も無事、終了してとても
盛大で楽しい時間を過ごせました。
来年も楽しみにしています。関係
者の皆様有難うございました。

府中けやき会親睦会

府中けやき会事務局長

佐藤 優

わたしたち府中けやき会はバス
旅行をレジャー係が企画し楽しい
バス旅行をして参りました。

2015年も屋形船によるスカ
イツリー観光ということで企画い
たしましたが、参加者が少なく残

念ながら中止となりました。

皆様のご要望で2015年12月
20日レジャー係のお陰で東府中の
マロウド・イン東京で開く運びと
なり、梅原会長のご挨拶でスター
ト、2015年長期透析(30年)
に滝下正夫さんが対象となり記念
品を贈呈され、本人よりお礼と感
謝の言葉が述べられました。

その後懇親会に入り乾杯の音頭
で始まり食が進むにつれ和やかな
雰囲気になまれサンタクロースの
衣装でカラオケ、ビンゴゲームと
それぞれが景品を手にして時を忘
れ楽しみました。

終わりに皆さんが記念写真に収
まりお開きとなりました。



府中けやき会親睦会

私と東腎協 ⑮



永見 明子さん (38)

井の頭クリニック腎友会 (透析8年)

◆ 何気なく見かけた機関誌

私が東腎協と出会ったのは、透析導入から1年ほど経ったあるときに機関誌を何気なく見かけたからでした。

そのときはいまのように活動をするなんて思いもよらず、ただ東腎協や患者会、腎臓病や治療の情報がほしくてたまらなくてすごくハングリーな気分だったのを覚えています。

そしてある時の夏 (導入後何年目だったかは覚えていません) 突然に事務局を訪問し、岸里さん (前事務局長) とお話をし、その後やはり突然に青年部の副部長として任命され驚きました。現在は青年部部長として任務をさせていただいております。

正式に入会したのは、透析導入から2年ほどしたのちで、私の通っているクリニックに

◆ 透析がくれた人生の転機

患者会 (小さいながら) があったからでした。

私は突然、腎臓病になりあつという間に透析導入となりました。原疾患が多発性のう胞腎で、遺伝性だと医師からは告げられたが、家族・親せきの誰も罹患した人がおらず精神的にかなり落ち込みました。今でも時折落ち込むことがあります。

それでも、和歌山や名古屋の全腎協大会に一人旅と称して参加したり、関東ブロック青年交流会に参加して全国の人たちと交流した経験は何事にも代えがたい貴重な経験となっています。

また、透析導入して3年したのちに社会福祉を学ぶために大学に入学し、社会福祉士の国家資格も取得しました。透析が私の人生に

転機を与え、再び学ぶ楽しさを与えたのです。大学で学んだ福祉の視点が東腎協での活動に役立てばと考えています。

大学在学中は仕事をしていましたが、現在では仕事も退職し、最近では2か月ほど入院も経験しました。

◆ 私たちには義務がある

現在の患者の傾向は全体的にやはり高齢化が進んでいることは否めません。

また毎年の署名活動、国会請願以外の活動に積極的に参加できる人が少なくなっているのも同様であります。そのことに関しても私など若い年代の人間に何ができるのか常に考えていかなければならないと思っています。

青年部として活動をしていても、私自身も入院をしたりしてきちんとした活動ができなくなっているように、体調に波があり、入院できることはありがたいことです。

この状態がこのままでは維持できなくなる不安が常につきまとっているのも事実です。

「私と東腎協」の第13回で梅原さんが仰っているように、現在の医療制度が維持されることを当たり前のように思わず医療制度の持続堅持していく義務がひとりひとりにあるのだと考えます。

そのためにもできるだけ元気で患者会活動ができるようきちんと体調を維持して、元気で過ごしていくことが重要ではないかと思っています。

とうじんきょう 活動の まど

中南部ブロック交流会

ブロック長 須賀春美

開催日時…2015年11月8日

(日)10…30、12…30

場所…喫茶室ルノアール 新宿三丁目ビックスビル 店

参加者…19名

参加者内訳…理事3名(藤田、

須賀、長井)

松和患者会5名、大田病院腎友会3名、三軒茶屋腎友会2名、腎内科クリニック1名、個人会員4名、非会員1名

プログラム

第1部 講演・質疑応答

演題…「透析歴43年、今もやっぱり自己管理が大事」

講師…元東腎協会長 糸賀久夫



中南部ブロック交流会

氏 透析歴43年

第2部 フリートーク

何でも気軽に話し合いました。「透析、患者会、東腎協」の抱える問題点やこれからについて

【内容報告】

糸賀さんの講演は、今までの透析を振り返る内容で、数々の透析医療の進歩、合併症の治療、医療費助成制度による恩恵などでした。透析歴が長く東腎協活動にずっと携わっていた糸賀さんだからこそ知る内容だったこともあり、透析歴の長い方も短い方もとても興味深く聞いておられました。

その後4グループに分かれフリーで色々と話し合いをしてもらいました。今回のフリートークは横

の交流をテーマに、グループ分けは同じ病院の方が1グループ1名になるように工夫し、横の交流を図ってもらいました。

フリートークはどのグループも活発で終了時間を過ぎて話し合っていましたので、今後はフリートーク中心の交流会も開きたいと思いました。

当日は雨が降っており、当初の予定より参加者が少なくなってしまうのは残念でしたが、今後につながる交流会になったと思います。

第78回全腎協関東ブロック会議 in 東京

日時…12月6日(日)

場所…東京上野精養軒

関東ブロック大会の初めての試みとして、日帰りで行いました。はじめに開催県代表として東腎協藤田吉彦会長より参加者に歓迎の挨拶とこの間に亡くなられた方々への黙祷を行い、続いて馬上和久全腎協関東ブロック担当理事、全腎協木村繁専務理事より挨拶がありました。

第一部



第78回関東ブロック会議

議長選出のあと、第一部の記念講演として、全腎協の顧問弁護士である高野範城先生より「コンプライアンスについて」お話がありました。

高野先生は全腎協結成当初からの顧問弁護士で、結成当初の人々の思い出を語っていただきました。とりわけ「金の切れ目が命の切れ目」だった時代から、働くことを通じて社会貢献を行う事の大切さをお話いただきました。

次に「コンプライアンス」の具体的事例をあげて、組織・企業の場合、特に公益団体の場合の厳しさを強調された。最後に、コンプライアンスを遵守するには何が重要かを訴えられました。

第二部

昼食を挟んだ第二部全体会議は、①「自立支援医療について」②各県からの議案提案、③全腎協の組織活動の運営とあり方についての三つの議題で討議しました。最後に次回開催県の長野県より挨拶があり、定刻17時にすべての議題を終了しました。

2016年東腎協青年部活動計画書

青年部部长 永見明子

1、活動方針

活動の計画性と他県との交流も意識をしたうえで、青年部の再構築と活性化。

2、青年部の役割・意義

患者会、患者の高齢化が進む中で、比較的動きのとれる青年層（50歳くらいまで）の腎臓病患者が組織作りをし、活性化することによって患者同士の交流を図り、ひいては現在の医療を守っていく活動をしていくようにする。

3、具体的行動

（1）年間スケジュールの構築とそれに基づいた活動（定例会も含

めた）

（2）インターネットを利用した情報発信

（3）担当者制に基づく行事運営・青年部運営

（4）他県との交流・イベント運営

4、体制

部 長…永見明子

副 部 長…宿野部武志

ネット担当…大串智美

宿野部武志

広報担当…小林正和

阿部豊（サブ）

5、活動計画

東腎協および全腎協のイベント協力ならびに共催、他県とのイベント交流を行う。

それをふまえて青年部独自で年2回から3回ほどのイベントを行う。

できれば2、3か月に1回は個人会員も交えた交流会（お茶会など）を開催。月1度の定例会開催。

6、予算案

3万円（1イベントあたり）×2回+青年部交通費など予備費2万円＝8万円

※担当者の役割・内容は2015年度とほぼ同様とします

北部ブロック正会員会議

ブロック長 坂本悦男

日時…平成27年11月29日

10:00～11:30

場所…巢鴨ルノアル第2会議室

出席者…

○阿佐ヶ谷すずき腎友会

上垣保朗 氏

○河北葦クリニック腎友会

森谷湖茂 氏

○高中腎友会

鈴木明彦 氏

○東海病院ひまわり会

山崎 弘 氏

○練馬桜台クリニックさくら会

小野崎勝 氏

○優人大泉学園クリニック患者会

岩上健美 氏

○北部ブロック理事

今岡嘉光 氏

工藤育夫、坂本悦男

1、アンケートの集計結果報告及び説明

ブロック長から、北部ブロック内のみで10月に実施した「災害に関するアンケート」についての集計結果が配布されて説明が行われた。

配布枚数1460枚、回収総数444枚で回収されたアンケート



北部ブロック懇親会

の各項目について説明があり、全体としての感想は患者としての危機意識が希薄なのではないかと述べられた。この感想に出席者から、危機意識の希薄だけではなく、透析者の気持ちとして災害が起きたらそれで命が失われてもよい、と考えている方が多いのではないかと指摘があり出席者一同納得するものがあつた。

このアンケートの集計結果について、これで終わりではなく、患者会から要請された部数を患者会に配布し会員の方々に見てもらいたい、又個人会員の方々にも送付する。そして患者の意識がこの様なものだという事を透析施設にも理解してもらうべくコメントを

中南部防災館体験のご案内

予告

あけましておめでとうございます本年もよろしく
お願い致します。

毎日寒い日が続きますが、みなさん体調はいかがですか？

日頃は東腎協活動にご協力頂きありがとうございます。

下記日程にて『会員交流会・防災館体験』を開催いたします。
防災への備えとして実際に体験してみましょう。体験内容はご
自分の体調に合わせて選べます。ご家族、ご友人との参加も歓迎
です。この機会にみなさんで体験してみませんか？ また体
験終了後、フリートークの時間も予定しています。是非ご参加
下さい。

日時 平成28年2月7日（日曜日）

場所 池袋防災館池袋消防署内 4階

集合時間 12時30分

集合場所 池袋防災館4階受付前

参加費 無料

※フリートークの場所は未定のため当日ご案内します。

申し込み方法 患者会役員へお申し込みください。

お問合せは東腎協事務局まで TEL：03-3944-4048

申し込み締め切り 2月1日（月）必着

透析者のための災害対策（第2回目）

予告

都内で初めて作成された 「災害時における透析医療確保に関する行動指針」

日時：平成28年2月20日（土） 13：00～16：30（開場12：00）

場所：練馬ココネリホール3階 西武池袋線 練馬駅北側 バスターミ
ナル横

参加費：無料（先着順120名位）

患者、その家族、関係する医療従事者の方々のご参集願います。

プログラム

13：00 開 始

13：15～14：00 解 説

「災害時における透析医療確保に関する行動」（練馬区
地域医療課・清水輝一課長）

14：00～14：30 講 演

「災害時に守りたい食事摂取の量と質」（仮）
（練馬総合病院栄養科・秋山安史科長）

14：30～15：45 試食&説明（サンプル提供 キッセイ薬品工業ヘルスケ
ア事業部・宮澤茂樹氏）

15：45～16：30 落語2席（今柳亭波舟氏 他1名）

16：30 閉会挨拶（NPO東京腎臓病協議会会長・藤田吉彦氏）

主 催 練馬腎患者ネットワーク、北部ブロック

後 援 練馬区地域医療課、NPO東京腎臓病協議会

協 力 高松病院腎患者会、東海病院ひまわり会、練馬・桜台クリニックさ
くら会、優人クリニック患者会、優人大泉学園クリニック患者会

協 賛 東海病院、練馬・桜台クリニック、武蔵野総合クリニック

付けて送付することとする事を決
めた。又ブロック内の各区にもコ
メントをつけて送付し、透析患者
のための災害対策の作成を督促す
ることとする。

皆様に流して、拡大活動がし易く
なるように手伝う必要が納得され
た。そこで①東京都内の患者と他
県の患者との経済的負担の違いの
説明と一覧表を配布した。②「生
殺与奪」と言う表題の付いた文書
を配布。

2、来年1月からの会員拡大キャ
ンペーンについて

これは、練馬桜台クリニックさ
くら会が10月に行った会員増員活
動で千葉県の透析患者との違いを

説明して東京都内の患者が自分た
ちの權益を守らなければならぬ
という意識に訴えたところ、一挙
に十数名の方が患者会に新規入会
した、と言う実例を参考にしたもの
です。この方法をブロック内で
使う事で話が了解された。

3、機関誌、新年号の会長との座
談会への出席について

北部ブロックから2名の方の出

席が要請されており、席上で「河
北葦クリニック腎友会の森谷湖茂
氏」と「練馬桜台クリニックさく
ら会の岩上建美氏」の出席が了解
された。

この後予定していた昼食会で様
々な意見交換があり午後2時に散
会した。



明けましておめでとうございます

二〇一六年一月

今年もがんばります

NPO法人東京腎臓病協議会

会長 藤田 吉彦

副会長 小野 誠

副会長 戸倉 振一

中南部ブロック長 須賀 春美

多摩ブロック長 梅原 秀孝

東部ブロック長 中村 博

北部ブロック長 坂本 悦男

事務局長 板橋 俊司

理事

金井 信憲・工藤 育夫

齊藤 和巳・酒井 豊

榊原 靖夫・清水 陽介

關戸 千尋・田崎 勲

長井久美子・吉田 芳子

新見 範彦・杉崎憲三郎

村越 京子・遠藤 博迪

一般社団法人

全国腎臓病協議会

会長 今井 政敏

〒170-0002

東京都豊島区巣鴨1丁目20番9号

巢鴨ファーストビル3階

TEL 03(5395)2631

医療法人社団 順洋会

武蔵野総合クリニック練馬

院長 下村 洋

透析センター長 木村 庄吾

〒176-0001

東京都練馬区練馬1丁目26番1号

TEL 03-3993-7015

医療法人社団 駿昭会

小池内科

院長 小池 昭夫

〒102-0071

東京都千代田区富士見町2丁目13番16号上田ビル

TEL 03-3265-0203

医療法人社団 秀佑会

東海病院

院長 江本 秀斗

〒176-0023

東京都練馬区中村北2丁目10番11号

TEL 03(3999)1131

医療法人社団 健生会

腎クリニック高野台

院長 永田 雅子

〒177-0033

東京都練馬区高野台1丁目3番7号NFプラザII3階

TEL 03(5910)3122

FAX 03(5910)3123

医療法人社団 菅沼会

寺田病院

院長 寺田 光男

〒168-0081

東京都杉並区宮前5丁目18番16号

TEL 03-3332-1166

医療法人社団 菅沼会

腎内科クリニック世田谷

理事長・院長 菅沼 信也

〒157-0062

東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号

TEL 03(5969)4976

医療法人社団 清湘会

清湘会記念病院

院長 畠山 卓弥

〒136-0071

東京都江東区亀戸2丁目17番24号

TEL 03(3633)2303

社会医療法人社団 健生会

羽村相互診療所

所長 小林 重雄

〒205-0023

東京都羽村市神明台1丁目30番5号

TEL 042(554)5420

FAX 042(555)3151

医療法人社団 晴仁会

立川北口駅前クリニック

理事長 檜垣 昌夫

〒190-0012

東京都立川市曙町1丁目31番2号遠藤創進ビル3階

TEL 042(523)2299

医療法人社団 晴仁会

幸町腎クリニック

院長 渡辺賀寿雄

〒190-0004

東京都立川市柏町4丁目1番1号

FAX 042(536)3099

医療法人社団 腎と水

新中野透析クリニック

院長 津田 信次

〒164-0012

東京都中野区本町3丁目23番3号新中野AMビル1階

FAX 03(3370)8111

医療法人社団 清光会

医療法人社団 清光会

理事長 横山 志郎

〒249-0001

神奈川県逗子市久木4丁目25番8号

FAX 046(873)9991



明けましておめでとうございます

二〇一六年一月

医療法人社団 長尽会 長久保病院 三和クリニック 理事長 桑原 勝孝 〒186-0011 東京都国立市谷保6907番地の1 ☎042-(571)-2211 FAX042-(571)-2288	医療法人社団 心施会 理事長 杉崎健太郎 〒183-0055 府中市府中町 1-8-1 第7三ツ木ビル6F ☎042-366-8909	医療法人社団 北桜会 東武練馬クリニック 〒175-0083 板橋区徳丸 3-11-2 ☎03-5922-3530	医療法人社団 仁星会 大泉学園クリニック 院長 草場 岳 〒178-0063 練馬区東大泉 5-40-24 サンダリオンビル3-5F
社会医療法人社団 健生会 すながわ相互診療所 所長 小泉 博史 〒190-0002 東京都立川市幸町5丁目9番2号 ☎042-(538)-1502 FAX042-(538)-0372	練馬桜台クリニック 事務長 東 謙策 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目11番9号 ☎03-(5999)-0723 FAX03-(5999)-0823	医療法人社団 春口クリニック 飯田橋春口クリニック 院長 春口 洋昭 〒102-0072 千代田区飯田橋 3丁目9-3 SKプラザ2F ☎03-5215-1515	医療法人社団やよい会 あやせ駅前腎クリニック 院長 榎本 美穂 〒120-0005 足立区綾瀬 3-16-4 とうしんビル5・6階 ☎03-5697-8281
医療法人財団 織本病院 理事長・院長 高木 由利 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-261 ☎042-491-2121	医療法人社団 樺会 十条腎クリニック 院長 街 稔 〒114-0034 東京都北区上十条2丁目13番1号 ☎03-(3908)-2411	医療法人社団 仁星会 理事長 稲田 俊雄 〒177-0033 練馬区高野台 1-8-15 ☎03-5372-6151	医療法人社団 松和会 望星田無クリニック 院長 福井 光峰 〒188-0011 東京都西東京市田無町2丁目21番地12号 ☎042-(464)-5711 FAX042-(461)-4838
医療法人社団 心施会 府中腎クリニック 院長 小杉 繁 〒183-0055 東京都府中市府中町 1-8-1 第7三ツ木ビル6F ☎042-(366)-8909	医療法人社団 北桜会 新線池袋クリニック 院長 目良純一郎 〒171-0021 豊島区池袋 1-10-10 東武アネックスビル4階 ☎03-5911-1250	医療法人社団 仁星会 練馬高野台クリニック 院長 鈴木 重伸 〒177-0033 練馬区高野台 1-8-15 ☎03-5372-6151	医療法人財団 百葉の会 銀座医院 上野透析クリニック 院長 関 正則 〒110-0005 台東区上野 2-12-20 ロータスビル3階 ☎03-5817-8770



明けましておめでとうございます

二〇一六年一月

南青山内科クリニック 院長 鈴木 孝子 〒107-0062 港区南青山 7-8-8-101 ☎03-6805-1836	新小岩クリニック 院長 西尾 恭介 〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22 ☎03-3694-5621 FAX03-3694-5628	新小岩クリニック船堀 院長 加納 達也 〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-4-24 ☎03-3688-9901 FAX03-3688-9973	望星赤羽クリニック 院長 喜田 浩 〒115-0045 東京都北区赤羽 2丁目11番3号 ☎03(3902)0255
望星新宿南口クリニック 院長 高橋 俊雅 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目4番2号久保ビル3階 ☎03-3376-0191	菊川橋クリニック 院長 古川 猛 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-11-1 ☎03-5600-2222 FAX03-5600-0805	菊川橋クリニック腎友会 会員一同 〒130-0024 墨田区菊川2-11-1 ☎03-5600-2222	にこたま会 会員一同 〒158-0094 東京都世田谷区玉川 2丁目24番24号セゾン玉川1階 ☎03(3708)1166
日野クリニック腎友会 会長 板橋 俊司 副会長 杉本 聡 副会長 春日 清 世話人 栗木美智子 世話人 長田由紀子 世話人 柿沼 敬子 他会員一同 〒191-0011 東京都日野市日野本町3丁目11番1号 ☎042(584)6621	中野共立病院腎友会・絆の会 社会医療法人社団 健友会 〒164-0001 東京都中野区中野5丁目44番6号 ☎03(3386)3166 FAX03(3386)9107	読者の皆様 新年あけましておめでとうございます 本年もよろしくお願い申しあげます 吉祥寺あさひ病院・吉祥寺クリニック内 会員一同	吉祥寺あさひ病院・吉祥寺クリニック内 会員一同
小池会 会長 藤田 吉彦 〒102-0071 東京都千代田区富士見町2丁目13番16号 上田ビル	東部ブロック 勝和なごみ会 会員一同	東海病院 ひまわり会 会長 山崎 弘 練馬腎ネット議長・副会長 坂本 悦男 会計監査 工藤 育夫 幹事 大塚 隆 幹事 桧貝 弥生 幹事 小室 富雄 幹事 吉田 義昭 幹事 野崎登喜治 高野台幹事 平井勢津子	東海病院 ひまわり会 会長 山崎 弘 練馬腎ネット議長・副会長 坂本 悦男 会計監査 工藤 育夫 幹事 大塚 隆 幹事 桧貝 弥生 幹事 小室 富雄 幹事 吉田 義昭 幹事 野崎登喜治 高野台幹事 平井勢津子 〒176-0023 東京都練馬区中村北2丁目10番11号 ☎03(3999)1131 FAX03(3999)7027



明けましておめでとうございます

二〇一六年一月

森山友の会 会長 宗像 聡之 他会員一同 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目15番24号 社会医療法人社団森山医会 森山リハビリテーション病院透析センター内 ☎03(3675)1211	江戸川区腎友さつき会 会長 戸倉 振一 〒134-0085 東京都江戸川区南葛西1丁目5番1号 ☎03(5658)0757	練馬桜台クリニックさくら会 会員一同 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目11番9号 TEL・FAX03(3994)8860	新中野フェニックス会 会長 塚田 久喜 会計 高澤 嘉宏 〒164-0012 東京都中野区本町3丁目23番3号新中野AMIビル1階 ☎03(3370)8111 FAX03(3370)8129
府中けやき会一同 医療法人社団 心施会 〒183-0055 東京都府中市府中町1丁目8番1号 第7三ツ木ビル6F ☎042(366)8909 FAX042(334)2501	清湘会記念病院腎友会 会長 中島 博和 他会員一同 〒136-0071 東京都江東区亀戸1丁目17番24号 ☎03(3636)2301	井口腎泌尿器科 理事長・院長 井口 靖浩 〒125-0061 東京都葛飾区亀有3-7-7サンセリテ鞆子 3階3号室 ☎03(3838)8721 FAX03(3838)8723	北村記念クリニック 院長 安東 克之 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-49-10 メディカルタウン新小岩 ☎03(6231)5931 FAX06(6231)5932
グリーンループ合同会社 ad square 〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目12番地13号 ぬのうらビル5F ☎03(6277)6580 FAX03(3505)8508	エルピス株式会社 常務取締役 堀江 好美 〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目18番27号 ☎06(4809)5505 FAX06(4809)5575	株式会社 東京在宅サービス 取締役社長 斎藤 英二 〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目5番4号YKBマイクガーデン201 ☎03(3354)0341 FAX03(3354)0373	自靖会親水クリニック 院長 北村 唯一 〒132-0033 東京都江戸川区東小松川2-7-1 ☎03(5661)3872 FAX03(3674)7036
通院移送センター タンポポ 理事長 小野崎 勝 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目12番13号ノイメゾン桜台1階 ☎03(6751)7372 FAX03(6751)7374	ユアーマート株式会社 カフェロシリーズ東日本地区総代理店 〒170-0003 東京都豊島区駒込3丁目2番7号 デュアル駒込5F ☎03(5980)6757 FAX03(5980)6758	扶桑薬品工業株式会社 東京第一支店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番5号 ☎03(5203)7101 FAX03(5203)7088	株式会社 教宣文化社 代表取締役 中村 伸一 〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下794 ☎04(2944)4323 FAX04(2944)0118



明けましておめでとうございいます

二〇一六年一月

あかつき印刷株式会社 代表取締役社長 工藤 盛雄 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4の25の2 APビル ☎03(34497)0531 FAX03(34497)0043	イーホープペプセル 代表 三好 哲夫 〒659-0042 兵庫県芦屋市緑町 1-4-702 ☎0797-26-8591	ベータ食品株式会社 代表取締役社長 原 年秀 〒531-0076 大阪府北区大淀中1丁目16番10号高石ビル5階 ☎06(63445)6222	松 和 患 者 会 会長 糸賀 久夫 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-9-2久保ビル3階 ☎090-125-6466(糸賀携帯)
新小岩クリニック友の会 新小岩医院・船堀医院 会 長 田崎 勲 副会長 山口 隆 副会長 當 喜美子 副会長 住安 重 会 計 藤本 光子 会 計 橋本 廼子 会計監査 栗原エイ子 会計監査 岡本 茂 役員 大畑 ハナ 役員 松田美代子 役員 田澤 佳子 役員 福田登喜子 役員 佐藤 和子 役員 有我多美子 役員 原田真由美	〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22新小岩クリニック内 ☎03-3694-5621 FAX03-3694-5678 〒134-0091 東京都江戸川区船堀4丁目4番24号 ☎03-3688-9901 FAX03-3688-9973	医療法人社団 松和会 望星西新宿診療所 院長 石黒 千鶴 〒160-0012 東京都新宿区西新宿3丁目12番12号 ☎03-5304-5655	

「2016新規会員獲得コンテスト」 実施概要

1. 名称
「2016新規会員獲得コンテスト」
2. 期間
平成27年4月～平成28年3月までの一年間
*会員獲得の集計は平成28年1月～3月まで集中的に行う。
3. 目的
全都・全ブロック・全患者会で「拡大運動」を取り組むこと
によって、患者会の絆を深めるとともに、実質的な会員拡大に
つなげる。
4. 拡大目標…400人
5. 実施要項
 - ①各患者会は平成27年4月1日の会員数を事務局からのハガキ
にて確認する(会費入金者)。
 - ②平成28年1月に、27年4月～12月までの会員拡大数を①のハ
ガキにて事務局に報告する。
 - ③平成28年1月～3月を集中的な拡大期間とし、毎月の会員拡
大数を事務局に報告する。
 - ④報告の際は、所定の「入会カード」に記入し、会費納入をも
って実績とする。
 - ⑤平成28年4月、事務局は「コンテスト」期間中の新会員拡大
数合計を集計し、1年間の拡大数、増加率、取り組み内容、
努力内容などを総合的に判断して、成績優秀な患者会、ブロ
ック、会員を表彰する。
 - ⑥表彰発表は、第11回東腎協総会、第6回東腎協大会で顕彰する。

追悼

渡邊 忠志さんを偲んで

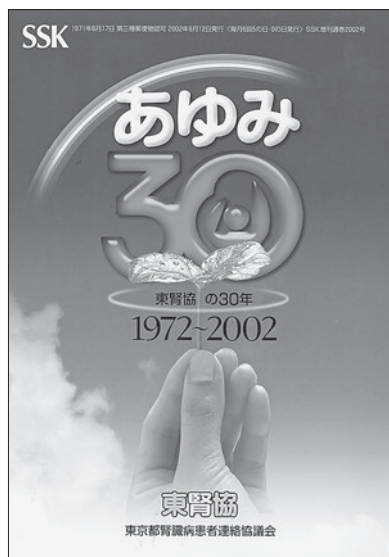
「情熱」と「信念」の人

東腎協理事 榊原 靖夫

東腎協の元会長渡邊さんの突然の訃報に接し、言い知れぬ悲しみと寂しさを感じます。思えば、渡邊さんとは本当に多くの思い出があります。

私が平成11年に東腎協活動に関わる事になった時からの付き合いになりましたが最初はとても豪放磊落な方という印象でした。

当初は東腎協の副会長をなさっていました。私が初対面の時から私を「サカちゃん」と呼ん



30周年記念誌

でいただいた、気さくで親しみ深い人でした。平成14年に東腎協第8代会長に就任されたときに突如、私に「副会長を」と言われ大変驚いた事を思い出します。

東腎協役員歴が僅か三年の私でしたがその間、渡邊さんとは「東腎協活動」や「患者会活動」に関して忌憚のない議論を交わして来ました。副会長をお受けするに当たっても多くの話し合い時間を持った事を思い出します。

当時、東腎協は任意団体で会長の任期は一年でしたので、渡邊さんは一年で退任されましたが、その1年の任期中に平成12年に東京都の心身障害者医療費助成制度等の大変重要な条例改悪がなされた直後でした。

また、東腎協結成30周年という区切りの記念総会と記念大会開催の大きな事業を遂行され、同時に前年から始まっていた東腎協の法

人化（NPO法人）の作業にも精励されました。

その結果翌年、私が会長に就きました。平成15年に法人格を取得し「NPO法人東京腎臓病協議会」として新たな出発が来ました。一年の短い在任期間ではありましたが、東腎協の43年の歴史の中でも最も重要な時期を会長として奮闘された方だと思います。

歯に物を着せぬ物言いで、豪快でありながら細かい気配りも出来ていて、少々オチャメな所もあり、懐の深い人でした。

いつも帽子を少し斜めに被り笑いかけるお顔はチャームिंगでした。

でも、東腎協の活動の事になると一転厳しい顔になりとても熱く語りかける方でした。その「患者会活動」への「情熱」と「信念」に感銘を受けた人は多かった事と思います。私もその一人です。

本当に長い間の「透析生活」と「患者会活動」ご苦労様でした。そして、ありがとうございます。在りし日の渡邊さんを偲びながら心より哀悼の意を表したいと思います。

合掌

渡邊忠志（わたなべ ただし） 平成27年11月13日逝去、享年84歳。昭和63年12月透析導入。平成10年東腎協理事、平成12年副会長、平成14年東腎協第8代会長

全腎協から——おしらせ

2015 年度「全腎協ニューズレター」第 9 号

全腎協事務局作成（2015. 11. 5）

■財務省が社会保障制度改革工程表を提示

財務省は、10 月 9 日に開催した財政制度分科会で、2020 年度までに実施する社会保障制度の「改革工程表」を示しました。「工程表」は、今年 6 月に閣議決定された「骨太の方針」に盛り込まれた医療・介護・年金など 44 項目について、改革の方向性や具体的な検討・実施時期を示したものです。

後期高齢者など高齢者の高額療養費の引き上げなど提示

医療では、できる限り早期に取りまとめるべきものとして、「後期高齢者の窓口負担の引き上げ（原則 2 割へ）」、2016 年年末までに結論を得るものとして、「高齢者の高額療養費の負担引き上げ（現役なみ所得者へ）」や「入院時の居住費の負担」など、2017 年通常国会までに法案提出するものとして、「湿布や目薬などの市販品類似薬の保険給付外し」などが掲げられています。



介護保険 所得にかかわらず自己負担 2 割へ

介護では、「利用者負担の引き上げ」が、今年 8 月に一定所得以上が 1 割から 2 割へ引き上げられたばかりですが、「工程表」では、所得にかかわらず 65～74 歳を 2 割負担へ引き上げ（2016 年年末までに結論）、その後、75 歳以上も原則 2 割負担にすること（できる限り早期に取りまとめ）と提案しています。また、要介護 1、2 の通所介護（デイサービス）についても、保険給付から外し、自治体予算の範囲で行う地域支援事業へ移行する（2016 年年末までに結論）としています。



財務省の社会保障制度改革工程表より（一部）

2016 年年末までに結論	・ 高齢者の高額療養費の負担引き上げ ・ 入院時の居住費（光熱費）の負担
2017 年通常国会までに法案提出	・ 湿布や目薬などの市販品類似薬は保険給付外 ・ かかりつけ医以外を受診した場合の定額負担 ・ 65～74 歳の介護保険利用者負担を 2 割へ引き上げ ・ 要介護 1、2 の通所介護を地域支援事業へ移行 ・ 高所得者の年金の一部支給停止
できる限り早期に取りまとめ	・ 後期高齢者の窓口負担を 2 割へ引き上げ ・ 75 歳以上の介護保険利用者負担を 2 割へ引き上げ

政府の経済財政諮問会議は、年末までに 2020 年度までの改革工程表をとりまとめることにしており、財務省は、今回まとめた改革案を政府案に反映させたい考えです。

参考 URL：

http://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/materi

高齢者の高額療養費が現役なみ所得へ引き上げられた場合、透析を受けている後期高齢者の「特定疾病療養受療証」においても、現在一律月額 1 万円のところ一定所得以上の人は月額 2 万円へ、住民税非課税者は、現在の月額 8000 円が 1 万円へ、それぞれ引き上がることが予想されます。その影響は、高齢者の高額療養費の負担月額を準用している「障害者医療費助成制度（一部自己負担）」を展開している自治体の制度へも及ぶものと思われ、全腎協では、引き続き財務省の動向についても注視していく予定です。

事務局から

「ご寄付御礼」

立川相互クリニック

○森 清様ご遺族様より五万円

ご寄付ありがとうございました。

扶桑薬品工業(株)

○東京第一支店様(10月・12月)

ご寄付ありがとうございました。

「会費納入のお願い」

常日頃より東腎協活動にご理解
ご協力ありがとうございます。会
費納入のお知らせ、振込用紙をご
送付させて頂きました。出来るだ
け速やかにご入金いただけますよ

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会 賛助会員入会のお願い

1972年(昭和47年)11月19日、
東京都腎臓病協議会(現、特定非
営利活動法人東京腎臓病協議会)
を結成しました。結成から44年を
経過し、透析医療も格段に進歩し、
40年を迎えている透析患者さんも
いらっしゃいます。

その一方で社会保障制度、医
療費制度の削減が社会問題となっ
ており、莫大な費用を要する透析
医療も安心してはられない状況
です。これからも医療機関、各企
業、患者団体と結束して活動する
ことが大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守
る活動に賛同いただければ是非、
賛助会員として団体の活動を支え
ていただきたく心よりお願い致し
ます。

記

賛助会員会費：個人年額 5,000円、
団体年額 1010,000円／10以上

※年1回名刺広告を機関誌「とう
じんきょう」に掲載させていただきます
(但し、継続でも初年度1
回のみとさせていただきます)。



うご協力のほどよろしくお願いい
たします。

表紙の作品募集

機関誌「とうじんきょう」の表
紙に、会員の皆様の作品を掲載い
たします。絵画、陶芸、手芸、料
理、何でも構いません。

募集時期

随時募集

応募方法

出来るだけ作品を写真
撮影して、プリントと作品コメン
ト(400字以内)を添えて郵送
してください。

謝礼

採用の際には薄謝(図書

券)を進呈いたします。

「投稿のお願い」

編集委員会では会員の皆様から
の投稿を随時受け付けています。

「なかまのたより」に投稿の方、
内容は問いませんので、何でもお
寄せください。

「事務局員募集」

東腎協事務局では今春4月から
勤務できる事務局員を募集してい
ます。希望者は2月20日までに履
歴書を送付して下さい。

(応募資格)

○透析者及びその家族、又は腎臓
病患者のために誠意を持って仕事
を出来る人

○年齢20代～60代位まで(原則的

に年齢・男女は問わない)

○勤務時間は午前10時から午後5
時(透析日は4時)頃まで

○勤務日は、月水金及び火木(週
2、3日)

○資格経験は問わないが、パソコ
ン、経理、編集などの経験、関心
があれば可

○待遇は時給制とし時給は東京都
の最低賃金(現行907円)、交

通費全額支給

○申込・問合せ

東腎協事務局(豊島区南大塚2-
40-11富士大塚ビル2F・事務局
長(板橋まで)

編集後記

○事務局にいる喜びと言うものは、
会員さんや役員さんたちの笑顔や
熱い意欲が見えた時だ。昨年から
スタートした「三年中期計画」も
後半期に入って、少しずつではあ
るがブロックや患者会役員の中に
浸透しつつあるように思える。

組織拡大運動はそう簡単ではな
い。すぐに結果は出ないだろうが、
日々の努力が近い将来きつと報わ
れると信じて、2016年の東腎
協活動はスタートした。(板橋)

表紙のことば



東腎協では、昨年総会で採択された「三年中期計画」の取り組みとして、会員増強キャンペーンを展開中です。このポスターは主に新規患者会作りのため、未組織施設用に作成したものです。既存患者会でも大いに活用して下さい。

今後の活動予定

2018年1月24日(日)
第115回理事会(予定)
2月19日(金)
第10回じんぞう病治療研究会市民公開講座講演会
3月13日(日)
第27回腎臓病を考える都民の集い
3月17日(木)
第45次国会請願・署名運動
3月27日(日)
第116回理事会(予定)

5月15日(日)
全腎協大会in兵庫
5月22日(日)
第117回理事会(予定)
6月4日(土)
全腎協総会(大森東急イン)
6月12日(日)
NPO東腎協第11回総会
7月24日(日)
第18回理事会

○人と人との絆!!

私達は、人工透析と言う絆でつながっていると思っています。

先人達が、自分の命を懸けて勝ち得た医療制度、その恩恵を受けて今を生きる私たちは今さえ良ければ良いという刹那主義でよいのでしょうか? 自分達の将来を見据え、また将来人工透析になるであろう人達のために負の遺産(自己負担)を残さないようにしたいものです。(工藤)

〈事務局雑感〉

■東腎協は今年もまた「腎疾患総合対策」の早期確立を掲げて国会請願の署名運動に会を挙げて取り

組んでいる。この運動の典拠は日本国憲法である。請願署名の行為は憲法第16条の「請願権」に基づいており、そして請願の趣旨は第25条の「生存権」そのものである。なんとも話しがカタいが、これは昨今の政治家たちが日本国憲法をあまりにも粗末に扱うものだからやむを得ない。

カタいついでに政治家諸君のために憲法99条「憲法尊重擁護義務」を掲げておく。「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ」。(白坂)

■患者会の写真の整理も佳境に入ってきました。残っているネガフィルムをデジタル化して後世に残すようにするためです。前事務局長の岸里さんの要望でもありました。新年もいろいろな事があるでしょうけれども、元気で、共に頑張っていきましょう。(杵永)

■明けましておめでとうございませう。事務局の年末年始のお休みは日曜日を含めて9日間もあったのに、あつという間に新年の仕事始めになりました。とりあえずは、国会請願の署名の整理からです。頑張ります。(長井)

腎臓病を考える 都民の集い 第27回

2016年3月13日(日)
14時〜16時30分
(13時30分開場)

場所 東京都庁第一本庁舎5階大会議場
〒163-8001新宿区西新宿2-8-1 TEL 03-5321-1111(代表)
交通 JR新宿駅西口 徒歩15分/都営地下鉄大江戸線都庁前駅 徒歩5分

講演内容

講演Ⅰ:「CKD(慢性腎臓病)について」(50分)
講師:篠田俊雄 先生 河北総合病院透析センター長
講演Ⅱ:「CKD(慢性腎臓病)の食事療法」(40分)
講師:管理栄養士 湯浅愛先生 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター栄養部課長

主催 NPO法人東京腎臓病協議会
共催 東京都
後援名義 一般社団法人日本腎臓学会、一般社団法人日本透析医学会、公益社団法人日本透析医会、公益財団法人日本腎臓財団、東腎協苦体非営利活動法人腎臓サポート協会、認定特定非営利活動法人腎臓病早期発見推進機構、一般社団法人全国腎臓病協議会